

科学研究費補助金（学術創成研究費）研究進捗評価結果

| | | | |
|------------------|------------------------------|------|---------------|
| 課題番号 | 17GS0318 | 研究期間 | 平成17年度～平成21年度 |
| 研究課題名 | プラナリアの再生組織構築を決定する位置情報システムの解明 | | |
| 研究代表者名 (所属・職) | 阿形 清和（京都大学・大学院理学研究科・教授） | | |

【平成20年度 研究進捗評価結果】

| 該当欄 | | 評価基準 |
|---|----|--|
| | A+ | 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる |
| ○ | A | 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる |
| | B | 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である |
| | C | 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である |
| （評価意見） | | |
| <p>これまでの研究により、発生生物学、幹細胞生物学、再生生物学の分野において、再生力の非常に高いプラナリアという対象の特質を活かし、世界をリードする研究成果を挙げつつある。単に新規遺伝子の同定に留まらず、初期発生・再生において身体を領域化するメカニズムとして「分子ダム仮説」という新しい概念の提唱に繋がったことは、形態形成の根源的メカニズムに関し、従来の「濃度勾配仮説」からさらに大きく進展したといえる。今後のさらなる展開が期待できる。</p> | | |

【平成22年度 研究進捗評価結果に対する検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。